

第3学年 外国語活動 授業構想シート

授業者 中村 正雄

本実践の主張点	もらって嬉しいメダル作りという課題のもと,どんなことを学ばよいか考え,取り組むことで汎用的に学びに向かう力を育むことができるであろう。
---------	---

1. 単元名 『Welcome to Japan』 3A メダルをプレゼントしよう

2. 3年A組の子ども

<p>3年生になり外国語活動の時間も週に1時間に増え,子どもたちは今までより外国語に触れる機会が多くなった。本学級ではHRTとFLTとで外国語活動の授業を行ってきた。</p> <p>朝の会でのあいさつや外国語の歌を何回も繰り返すことで少しずつではあるが,抵抗感なく外国語を使うことができるようになってきた。</p> <p>今後,外国語を使う機会を確保し子どもたちが自信を持って外国語と接することが出来るような環境を整え,自分の言葉が相手に伝わった時の喜びや達成感につながることを出来るようにしていきたい。</p>
--

3. 何ができるようになるか

探究力	外国語を使って尋ねたり,答えたりする表現に慣れ親しみ,進んで外国語を使って友だちや外国の人とやりとりをしようとする態度(主体的に取り組む態度)
省察性	外国語をもっと知りたい使いたいと思ったり,外国語で何というのかという問いを持つたりする力(主体的に取り組む態度を支える省察性)

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを行うことを通して,相手意識を持ちながら外国語でやりとりする。 ・相手に伝わるよう学んだ表現を生かして尋ねたり答えたりする。
--

②教材の価値

<p>子どもたちは,外国の人(ゲストティーチャー)との交流会でありがとうのメダルを渡そうと取り組んでいる。もらって嬉しくなるようなメダルにするためには,どんな表現を身に付けて,本人に尋ねた上でメダル作りをしていくのが大事である。</p> <p>本単元では,What~do you like?に尋ねたい語句を入れることで様々な表現に結び付けることができ,子どもたちの尋ねたい表現に関連させながら学習することができると考える。色や形など尋ねたい表現を自ら考え,習得・活用していくことでより外国語に興味を持ち,主体的に関わろうとする姿が見られるのではないかと考えた。</p>
--

③学年間・教科間のつながり

本学級では、総合的な学習の時間で外国の文化について学習しており、1学期もゲストティーチャーを迎え、インドネシアの文化を知る取り組みを行った。また、本校では低学年時から外国語活動を行っており子どもたちは2年生の時に色や形の表現を学習している。総合的な学習の時間で外国の人との交流会を計画しながら、学んだ表現を使う必然性をもたせ、外国語活動の中でさらに習得・活用していきたい。外国語活動で学習した表現を用いる機会を確保しつつ、外国の人から自分に必要な情報を聞き出す活動につなげていきたい。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる つなげる まとめる 広げる 予想する 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

単元計画（全5時間） 本時 4/5

○何が好きなのか尋ねよう「What do you like?」（5時間）

第1時『好きなものを尋ねたり、答えたりしよう』

- ・何が好きなのかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。

第2時『何が好きなのか友だちに尋ねよう』

- ・友だちの好きなものを尋ねてやりとりをする。

第3時『いろいろな尋ね方を知ろう』

- ・外国の人に尋ねたいことを話し合い、FLTの先生に「What~do you like?」の表現を覚えてもらう。

第4時『友だちとインタビューの練習をしよう』 【本時】

- ・話し合った表現に慣れ親しみ、インタビューの練習をする。

第5時『外国の人に好きな〇〇をインタビューしてみよう』

- ・学習した表現を使って外国人にインタビューする。

○オリジナルメダルを作ってプレゼントしよう

	単元における授業づくりのしかけ
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを見据えて目的意識を持たせる。 ・子どもたちが外国語に触れ「楽しい」と感じる場を設定する。 ・友だちとのやり取りを行うことができるアクティビティを取り入れ、「もっと外国語を使いたい」「外国語を使ってやり取りできた」という心情を育む。
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を進んで使えたことやもっと知りたいことなど、自己を振り返る中で外国語の良さや面白さ、楽しさに気付かせる。

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で何が好きなのか尋ねる表現に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとのやりとりの中で相手に伝わるように話したり、聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を持って外国語を使ってみようとしている。 ・外国語での表現に親しみ、興味をもって取り組んでいる。

外国語活動学習指導本時案

授業者 中村 正雄

日時：令和元年 11 月 3 日（日）第 2 校時（10：10～10：55）

対象：第 3 学年 A 組 28 人

場所：3 年 A 組教室

本時の主張点	インタビュー活動における工夫や課題を整理し、全体で共有化することで、進んで外国語に慣れ親しもうとする姿が見られるであろう。
--------	---

1. 本時の構想と学習課題について

外国の人と交流会をする時に子どもたちは、オリジナルのメダルを作って渡そうと計画している。「どんなメダルを作ったらいいのかな」「外国の人が喜ぶメダルってどんなのだろう」といった問いから実際にインタビューをして好きな色や形などを尋ねることに決めた。3 年生にとって外国の人と話すことは難しいように感じるが、子どもたちが尋ねたいことを可視化・共有化しながら学習を進めることで表現を身に付け、自分の言いたいことが伝わった時の喜びを感じてもらいたいと考えた。本時では、外国の人にインタビューするための練習として友だちとのやりとりを主な活動としている。先に友だちとやりとりを行い、振り返ることでインタビューにおける課題や成果が見えてくる。子どもたちが抵抗感なく話ができるよう子どもたちの知りたいことを把握し、自信につながられる外国語活動にしていきたい。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

本時では、外国の人にインタビューするために必要な表現を話し合う活動を設定している。外国の人にインタビューをするという場面を設定することで、外国語の表現において「何が必要なのか」をイメージさせたい。「好きな色や形を尋ねたい」といった子どもたちの知的好奇心や「外国語でどう言ったら良いのか」といった問いをつなげながら学習を進めていく。そして、必要な情報を取得するためにどんな外国語の表現を獲得していくのか考える過程に探求的な学びがあると考えた。実際に友だちとインタビューする活動では、自分や友だちのインタビュー活動から、「インタビューの許可を取る言い方」や「あいさつや、お礼、頷き」といった会話に関しての言葉の必要性などに気づかせていきたい。

3. 本時で活用・発揮したいこれまでの学び

外国の人が貰って嬉しいメダル作りを目指すには、実際にインタビューを通してニーズを把握しておく必要がある。本単元で学んできた「What ○○ do you like?」の表現を用いることで色や形、大きさやデザインなど相手の好きなメダル作りができるよう活動の幅を広げたい。また、インタビューという活動を位置付けているので、会話を意識させ挨拶やお礼などやりとりをする上で大事な表現にも気付かせていきたい。3 年生では、外国語における語彙力が少ないので子どもたちが知りたい表現を教師が提示しながら共有し、学習を進めていく。

4. 本時の目標

「What○○ do you like?」を使い、インタビューの仕方に慣れ親しむことができる。

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
1. あいさつをする 【Good morning. What～do you like?】 2. チャンツを歌う 3. めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かの子どもたちに質問し、答えることで既習事項を確認させる。 ・What ○○ do you like?の表現を想起させる。
<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> What ○○ do you like? の表現を使ってインタビューの練習をしよう </div>	
4. 質問カードゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの絵だから好きなスポーツを尋ねよう。 ・形を尋ねるのはどう言えばよかったかな。 5. 3ヒントメダル当てゲームを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・色を尋ねたらいいかな。 ・同じ色のメダルがあるから形を尋ねよう。 6. 尋ねたい表現を確認し、友だちにインタビューする。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな色がいいのか聞きたいです。 ・形も尋ねてみてもいいかも。 ・どんな絵を入れたらいいのか知りたいなあ。 7. 友だちとインタビューをして、活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・上手くインタビューできたよ。 ・あいさつを入れて工夫したよ。 ・インタビューしてもよいですかってどんな表現かな。 8. 時間があれば先生方にインタビューを行う。 9. 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・What ○○ do you like?の表現が使いにくい子をみとり支援する。 ・知りたい情報を考えさせることで、どの表現を使ったらいいのか考えさせるとともに、次のインタビュー活動につなげる。 ・Hello. Thank you. などインタビューを工夫して行っている子をみとり、紹介する。 ・どう尋ねたらよいか迷っている子を支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 思 </div> What ○○ do you like?の表現を使い、インタビューの仕方に慣れ親しんでいる。 【観察・振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする時のあいさつや、お礼にも目を向けさせる。 ・困ったことや上手くいったことを全体で共有する。 ・工夫してインタビューしている子をみとり褒める。 ・振り返りを全体で共有する。